

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社グループは2020年9月をもって第125期第2四半期を終了いたしましたので、連結決算概況についてご報告申し上げ、ご理解賜りたいと存じます。



2020年12月  
代表取締役社長 **ひろ ち あつし**  
**廣 地 厚**

### ■ グンゼにしかできない「こちよさ」をお客さまに提供し続け、「社会貢献」に努めてまいります。

当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日~2020年9月30日)における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、外出自粛や休業要請等の影響を受け個人消費や企業活動が著しく制限され、緊急事態宣言解除後も、新型コロナウイルス感染症の収束は見通しが立っておらず、経済へのマイナス影響は長期化することが懸念されております。

当社グループでは、中期経営計画「CAN20計画第2フェーズ」において、『集中と結集』をコンセプトに、「セグメント別事業戦略」「新規事業創出」「経営基盤強化」の3つの基本戦略への取り組みを進めておりますが、新型コロナウイルスの世界的感染拡大が、当社グループに大きな影響を及ぼしていることから、中期経営計画「CAN20計画第2フェーズ」の最終年度を2022年3月

期まで1年間延長し、2020年度はその影響を最小限とする取り組みを最優先と致します。新型コロナウイルス感染症の拡大によって、機能ソリューション事業は、海外販売を中心に影響を受けました。アパレル事業は、成長販路であるECチャンネルでの大幅な販売拡大を進めましたが、休業や店舗販売の低迷をカバーできませんでした。またライフクリエイティブ事業は、ショッピングセンターやスポーツクラブの臨時休業の影響を受けました。

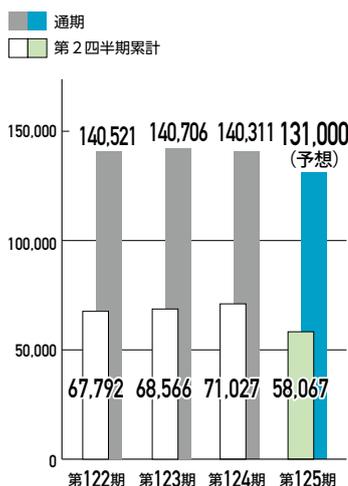
不透明な状況はまだ続きますが、当社はこれからも「お客さまに“こちよさ”をお届けしていく」という強い意志を持ち、社会に貢献する企業を目指してまいります。

株主の皆さまには、変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

### ■ 決算ハイライト

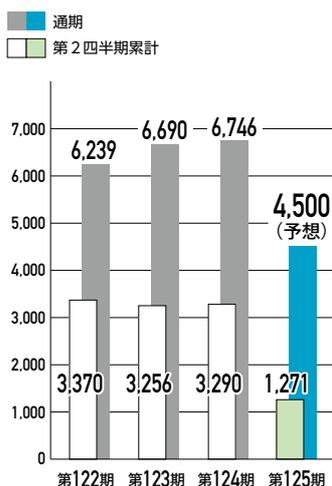
#### ● 売上高

単位：百万円



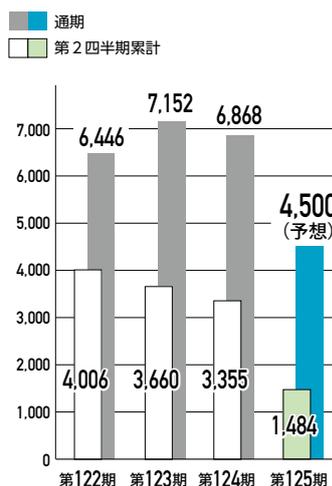
#### ● 営業利益

単位：百万円



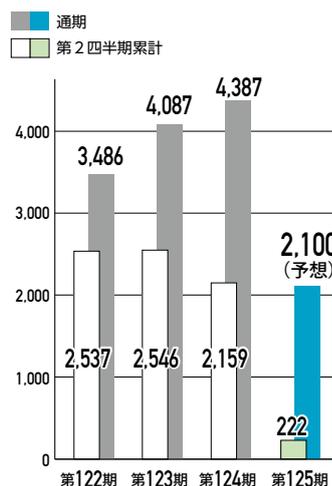
#### ● 経常利益

単位：百万円



#### ● 親会社株主に帰属する四半期純利益

単位：百万円



## 連結業績のご報告

### 連結貸借対照表(概要)

(単位：百万円、単位未満切捨て)

科目	2019年9月30日現在	2020年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	78,602	72,414
固定資産	95,396	88,698
有形固定資産	67,579	66,956
無形固定資産	1,962	1,626
投資その他資産	25,854	20,115
<b>資産合計</b>	<b>173,999</b>	<b>161,113</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	42,070	34,744
固定負債	22,406	16,536
<b>負債合計</b>	<b>64,477</b>	<b>51,280</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	109,006	108,734
資本金	26,071	26,071
資本剰余金	6,727	6,697
利益剰余金	82,132	82,532
自己株式	△ 5,925	△ 6,566
その他の包括利益累計額合計	△ 1,022	△ 457
新株予約権	212	187
非支配株主持分	1,326	1,368
<b>純資産合計</b>	<b>109,521</b>	<b>109,832</b>
<b>負債および純資産合計</b>	<b>173,999</b>	<b>161,113</b>

#### 流動資産 前年同期比61億円減少

現金及び預金23億円の減少、受取手形及び売掛金36億円の減少、前入金等その他16億円の減少、棚卸資産14億円の増加などにより、全体では61億円の減少となりました。

#### 固定資産 前年同期比66億円減少

機械装置及び運搬具(純額)17億円の増加、投資有価証券54億円の減少、建設仮勘定等その他(純額)23億円の減少などにより、全体では66億円の減少となりました。

#### 流動負債 前年同期比73億円減少

支払手形及び買掛金24億円の減少、コマーシャルペーパーを含む借入金29億円の減少、未払法人税等7億円の減少、未払金等その他11億円の減少などにより、全体では73億円の減少となりました。

#### 固定負債 前年同期比58億円減少

借入金48億円の減少などにより、全体では58億円の減少となりました。

#### 純資産 前年同期比3億円増加

親会社株主に帰属する純利益の計上24億円、その他有価証券評価差額金5億円の増加、配当金の支払20億円、自己株式の増加6億円などにより、全体では3億円の増加となりました。

### 連結損益計算書(要約)

(単位：百万円、単位未満切捨て)

科目	2019年4月1日から 2019年9月30日まで	2020年4月1日から 2020年9月30日まで
<b>売上高</b>	<b>71,027</b>	<b>58,067</b>
<b>売上総利益</b>	<b>21,308</b>	<b>17,687</b>
販売費及び一般管理費	18,017	16,415
<b>営業利益</b>	<b>3,290</b>	<b>1,271</b>
営業外損益	64	212
<b>経常利益</b>	<b>3,355</b>	<b>1,484</b>
特別損益	△ 4	△ 1,021
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>3,350</b>	<b>462</b>
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>2,159</b>	<b>222</b>

#### 売上高 前年同期比18.2%減少

機能ソリューション事業で46億円の減収、アパレル事業で64億円の減収、ライフクリエイト事業で18億円の減収となり、全体では129億円の減収となりました。

#### 営業利益 前年同期比61.4%減少

機能ソリューション事業で8億円の減益、アパレル事業で9億円の減益、ライフクリエイト事業で2億円の減益となり、全体では20億円の減益となりました。

### 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円、単位未満切捨て)

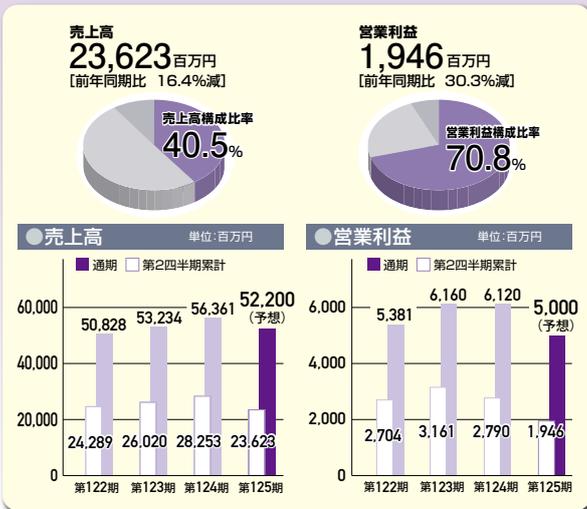
科目	2019年4月1日から 2019年9月30日まで	2020年4月1日から 2020年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,890	145
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,588	2,220
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,374	△ 3,499
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 107	△ 32
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,569	△ 1,166
連結範囲変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	744	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,417	8,101

#### 営業活動によるキャッシュ・フロー 前年同期比47億円減少

税金等調整前四半期純利益4億円、減価償却費31億円、売上債権の減少16億円、仕入債務の減少26億円、棚卸資産の増加19億円、法人税等の支払額6億円などにより1億円の収入となり、前年同期比47億円の減少となりました。

## セグメント状況

### 機能ソリューション事業



(注)セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。

プラスチックフィルム分野は、収縮ラベル用フィルムは外出・イベント自粛により飲料向けが低迷しましたが、包装用フィルムが内食需要で好調に推移しました。エンジニアリングプラスチック分野は、一般産業用は堅調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりオフィス関連向けOA製品が大きく低迷しました。電子部品分野は、中国でのサプライチェーン停滞によりタッチパネルの販売が減少しました。メディカル分野は、新型コロナウイルス感染症の影響が継続しており、医療機関の立ち入り制限等により、国内及び海外販売が減少しました。

#### 〈プラスチックフィルム分野〉



食品などの包装に使われているナイロンフィルム

#### 〈エンジニアリングプラスチック分野〉



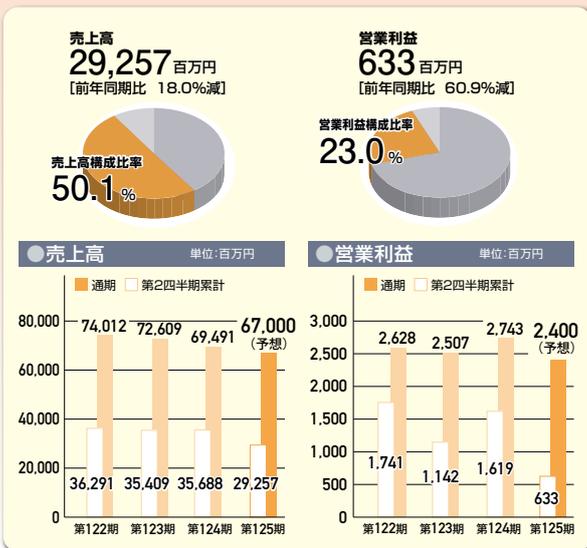
複写機やプリンタなどに使用されるOA向けフッ素チューブ

#### 〈メディカル分野〉



手術後に体内に吸収される組織補強材

### アパレル事業



(注)セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。

インナーウェア分野は、EC、ドラッグストアのチャネルが好調に推移しました。レッグウェア分野は、外出自粛のなか、ストックの着用機会が減少しましたが、一部レギンス等は好調に推移しました。アパレル事業全体では、新型コロナウイルス感染症による休業や外出自粛等により店頭販売は苦戦しましたが、緊急事態宣言の解除後は回復基調となっております。

#### 〈インナーウェア分野〉



Tシャツスタイルの新常識「in.T (インディー)」



ラクしてキレイが叶うワイヤレスブラジャー「Tuché Sweet Make Bra」

#### 〈レッグウェア分野〉



デザインで魅せるファッションレギンス「Tuché」

### ライフクリエイティブ事業



(注)セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。

不動産関連分野では、ショッピングセンター事業において、新型コロナウイルス感染症の影響が続いたことにより、集客が落ち込み苦戦しましたが、賃貸事業は堅調に推移しました。スポーツクラブ分野は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う休業要請の解除後も、会員の戻りは遅く影響を受けました。

#### 〈不動産関連分野〉



グンゼタウンセンター つかしん (兵庫県尼崎市)



ラヴィエール永福町 (東京都杉並区)

# 株主優待について

9月末 / 中間期のみ

保有株数と保有年数に応じた優待額を贈呈  
ご希望の優待サービスと交換いただけます。

## 贈呈品

贈呈商品の中から優待額  
の範囲内で好きな製品と交換

## クーポン

グンゼストア(グンゼ公式通販)でお買物の際にご利用いただけるクーポンを発行

## 寄付

優待額1,000円を1口として、子供の未来応援基金へ寄付

年2回 毎年9月末・3月末

さらに **30% 割引優待**

通販カタログ「セレススタイル」で割引優待にてご購入いただけます

※カタログはイメージです



保有株数	株式保有年数		
	3年未満	3年以上5年未満	5年以上
100~299株	2,000円相当	3,000円相当	4,000円相当
300株以上	4,000円相当	6,000円相当	8,000円相当

※2020年度中間期の株主優待は2020年9月30日を基準とした保有株数と保有年数に基づき実施いたします。

※保有年数は、毎年9月末日を基準日とし、同一株主番号で継続して株主名簿に記録されている年数です。(当社株式をすべて売却した後に、再度当社株式を購入された場合は、継続保有となりません。)

## 株式の状況 (2020年9月30日現在)

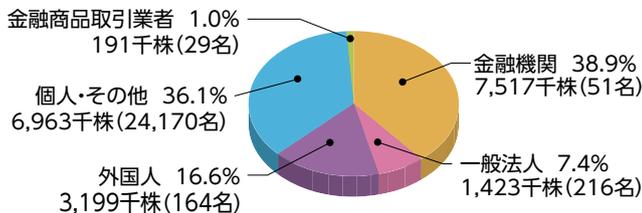
発行済株式の総数 ..... 19,293,516株

◎自己株式 (2020年4月1日から2020年9月30日)

取得 0.6千株 (2百万円)  
処分 30千株 (162百万円)  
期末 1,516千株 (6,566百万円)

◎単元株式数 : 100株

株主数 ..... 24,630名



(注) 円グラフは発行済株式数に対する保有割合

大株主一覧 (上位10名の株主)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社日本カストディ銀行	3,668	20.64
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	792	4.46
株式会社三菱UFJ銀行	613	3.45
株式会社京都銀行	587	3.31
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	500	2.82
全国共済農業協同組合連合会	451	2.54
第一生命保険株式会社	414	2.33
グンゼグループ従業員持株会	378	2.13
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	284	1.60
株式会社GSIクレオス	271	1.53

(注) 当社は、自己株式1,516千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 会社の概況 (2020年9月30日現在)

社名 グンゼ株式会社  
設立年月日 1896年8月10日  
資本金 26,071百万円  
従業員 1,752名(単体) 6,011名(連結)  
本店 京都府綾部市青野町膳所1番地  
大阪本社 大阪市北区梅田二丁目5番25号 (ハービスOSAKAオフィスタワー)  
TEL(06)6348-1313  
東京支社 東京都中央区日本橋二丁目10番4号  
TEL(03)3276-8710

※取締役、監査役、執行役員などの変更はございません。

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 6月下旬  
株主総会・期末配当金基準日 3月31日  
公告方法 電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。  
上場取引所 東京(第1部)  
証券コード 3002  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
同連絡先 〒541-8502  
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
TEL: 0120-094-777(通話料無料)